

■開会挨拶（山田社長）

■2020 シーズンのクラブ状況等の説明（山田社長）

- ・カタレ富山の経営状況における現状と課題

■2020 シーズンの振り返りと 2021 シーズンのチーム強化の説明（遠藤強化部長）

- ・2020 の課題の掘り起こしの分析

ターンオーバー採用により選手の出場機会が増えたことや個々の技術レベルが上がったのは良かったが試合結果に結びつかなかった

- ・2021 シーズンの方針

攻守にアグレッシブなサッカーを目標として、選手がピッチで躍動している姿をぜひ見てほしい
強度と質の高さを求めて「日常」を大事にトレーニングに努めている

- ・高知キャンプの状況

練習が大好きな石崎監督のもと、トレーニングマッチが休養というくらい練習を積んでいる。
選手たちは頑張っているので期待してほしい。

■質疑応答

(Q) 県総はピッチとの距離が遠いのでゴールシーン以外にも惜しいシーンやビッグセーブシーンもリプレイをしてほしい。試合終了後には当日の試合のハイライトシーンを流してほしい。

(A) エキサイティングシート等新たなシートの設置を検討している。当日ハイライトシーンは電光掲示板スタッフと打ち合わせをして流せるようにしたい。

(Q) 高知キャンプの広報に非常に力が入っていて非常に良かった。今年の広報戦略について知りたい。

(A) コロナ禍で選手と直接触れ合う機会がないので、できる限り会っている感覚になれる動画、現場に行かないとわからない練習中の選手監督の声や様子などオウンドメディアで動画を配信することをこれまで以上にやっていく。

新規層への広報はテレビラジオ新聞などのメディアの露出が大事だと考えている。CM 放送は例年同様放送。番組制作はハードルが高いが引き続き努力する。また多趣味な選手が多いのでサッカーだけではなく多方面で選手の露出をしていきたい。

(Q) 応援ソング「ヒカリス」をもっと押し出したらどうか。

(A) 今年は富山県太鼓協会に協力をいただき、選手入場前に応援ソングを使った手拍子の演出をするなどの応援ソングの活用を考えている。

(Q) 今シーズン J3 リーグは全 28 試合の短期決戦で昨年以上に負けが続くと昇格に大きく響くと感じるがどのように捉えているか。

(A) 日常でリバウンドメンタリティーの組織づくりが大切だと考えている。そういった組織になるための準

備をしっかりとしている。

(Q) 2021 シーズンは鳴り物の応援について制限があるか。

(A) 座席での鳴り物は使用可能となる。太鼓についてはホームゴール裏およびアウェイ応援席のみ。それ以外の座席はハリセンなどが使用できる。

※観戦マナー&ルール <https://www.kataller.co.jp/game/stadium/manner/>

(Q) 新加入選手それぞれの特徴を知りたい。

(A) 西部洋平 リーダーシップがある。予測ができ、サッカー理解が高いのでコーチング能力が高い。

黒木聖仁 テクニックが高く視野が広い。また展開力もある。

鈴木翔登 コーチングに長けている。チームを鼓舞できる。技術が安定している。

濱大耀 身長が高くキックの質が高い。

姫野宥弥 守備力が高い。ボールを奪いに行く予測とスピードが高い。

安藤由翔 攻守にわたってクオリティーが高く安定している。

音泉翔真 ドリブルの突破力は非凡なものを持っている。

大崎淳矢 攻守の切り替えのスピードが速い。テクニクが高い。

吉平翼 シュート力が高い。左右、クロスボールどんなボールもゴールに結びつけることができる。

松岡大智 左足の質が非常に高い。

(Q) 左伴社長への打診はどれくらい前からあったのか。

(A) 10月7日アウェイの藤枝戦で静岡へ行き、翌日静岡市内で初めてお会いした。2020 シーズンが終わり正式に社長というオファーをした。

(Q) 障害者のチケット割引を検討してはどうか。

(A) 電話での問い合わせもいただいていることもあり、検討していきたい。

(Q) 子供がスクールに通っており、周囲からレベルが高くついていけるのか心配された。実際はサッカーを楽しむ中で上達すること、人間性を育むことを目指すスクールなので誤解されている人が多いと感じている。もっとスクール生が増えるようにその誤解がないような情報発信や普及活動を行ってほしい。

(A) セレクションを実施してある程度技量のある選手で構成されているスーパースクールから、初心者もサッカーを楽しめるレギュラースクールまで幅広く開講している。

2020年からカターレ富山サッカースクールのTwitterアカウントを開設し、より多くのスクールの情報発信を心掛けた。無料体験もできるため、体験の様子の発信も継続して行っていきたい。今後さらに広報活動に力を入れていきたい。

(Q) 密になるところには行きたくないからスタジアムへ足を運ばない人がいると感じるのでもっと発信して観客増につなげてほしい。

(A) コロナ対策ができていることを引き続き発信していきたい。

(Q) 渋滞を懸念してスタジアムへ行かない人もいると感じるため道路の誘導についてもっと強化したらどうか。

(A) 2020年はスタジアムでのイベントが少なく、キックオフ直前に人が集中したことも考えられる。2021シーズンは魅力あるイベントの実施など来場者が分散する施策、ホームページ等での情報発信に努めていく。